

○獨逸大運河開鑿ノ計畫

本年三月十四日ノ獨字官報ニヨレハ同日帝國政府ハ十年以

前ヨリ數々話頭ニ上リタル彼ライン河ウエーゼル河及エルベ河ヲ接続スヘキ大運河開鑿案ヲ同國議會ニ提出シタリ政府ハ此計畫ニ關シ多年間精密ナル調査ヲナシタルカ其結果此運河ノ利ヲ被ルヘキラインウエストフアーレン地方ノ工業發達ニ對シ鐵道ノミニテハ到底満足ノ交通ヲナシ得ヘカラサルコトヲ覺リタリ抑々此地方ハ獨逸帝國全面積ノ百五十分ノ一ニ過キサレトモ其人口ハ全帝國人口ノ二十二分ノ一ニ達シ帝國鐵道交通ノ四分ノ一ヲ占ム即チ千八百九十七年中同地方鐵道ハ平均一キロメートルニツキ七萬三千噸ノ貨物ヲ出入シタレトモ其他獨逸地方全体ニ於テハ平均僅ニ六千八百噸ニ過キス且同地方ハ獨逸ノ最モ主要ナル石炭採掘地ニシテ又製鐵工業地トス同所ノ石炭採掘高ハ千八百九十二年ニ三千七百萬噸ナリシカ千八百九十七年ニハ四千八百萬噸ニ上リ又製鐵高ハ千八百九十四年ニ於テ已ニ二百七萬噸ニ及ヘリ即獨逸全國製鐵額ノ四割四分ニ當レリ如斯ラインウエストフアーレン地方ノ工業發達ノ迅速ナルコトハ歐洲其他地方ニ其例ヲ見ザル所ニシテ今後尙ホ進歩ノ狀況ヲ示セリ之ニ由リテ鐵道事業モ亦多少發達スヘシト雖モ地下ノ採鑛及地上ノ建築日ニ盛ナルヲ以テ鐵道ヲ増設セントスルニハ土地買収ニ洪大ナル費用ヲ要スヘシ而シテ現ニ又近傍ノ製造場ニ連絡スヘキ支線ノ必要ヲ感スルヲ以テ鐵道ノ擴張ハ久シカラスシテ頓挫ヲ來スノ虞アリ特ニ笨重ナル物品ノ輸送ニハ今ヤ特別ノ貨車特別ノ線路ノ必要ヲ説クモノアレトモ是レ却テ交通ノ混雜妨害ヲ生スヘシ

此等ノ不便ヲ救ヒ且ツ他地方ニモ併テ利便ヲ與ヘンニハ三大河ヲ接続シテ之ヲ利用スルヲ

上策トス幸ニ北獨逸地方ハ平原多キヲ占ムルヲ以テ此開鑿ハ容易ナルヘシ即チ李國政府ノ計畫ニ係ル運河ハ六百噸乃至七百五十噸ノ船ヲ通過セシムヘキモノニシテルユーロルト附近ニ於テライン河ヲ出テエムシエル谷ヲ通過シテエルネニ至リドルトムンドトエムスーヲ接續スル舊來ノ運河ニ合シベフエルゲルンヨリ又同運河ト分岐シテミンデン附近マテウエーゼル河ヲ横過シ其ヨリハンノーフエル府ヲ通過シマグデブルグ府ノ下ニ於テエルベ河ニ入ル其開鑿費ノ豫算ハ約二億六千万、マートクニシテ船舶交通稅等ハ悉ク此費用ノタメ募集スヘキ公債原利消却ヲ助クヘキモノトス

西 常

○紐育市ニ地下電氣鐵道ヲ築造スルノ計畫 聞ク所ニヨレバ紐育市ノ二大シンヂケ

トハ市内并ニ其周圍ニ地下電氣鐵道ヲ築造センコトヲ計畫シ市廳ノ特許ヲ得ント運動シツ、アリ右二大シンヂケトノ一ハホイットニー、シンヂケトニシテ其工事費豫算ヲ約二千万弗トナシ又運輸以外ノ用ニ供スル爲メ地中ニ電管ヲ埋伏スルノ許可ヲモ得ント希望セリ吾人ハ市廳ノ許否如何ヲ聞カザレモ他ノ一方ニハメトロポリタン、コントラクト、カムパニート稱スル會社アリテ同様ノ事業ヲ計畫シ營業開始ノ曉ニハ總益金ノ五分ヲ市廳ニ納附スベシト申出セリト云フ然レモ此會社ノ工事豫算額ハ僅ニ六百万弗ノ少額ニ過ギズザレド此兩社ノ計畫ハ孰レモ未ダ確定ノ場合ニ至ラズト聞ケリ(倫敦刊行エレクトリカル、イン、ジニア)

○露國ノ電氣工業 フィンランシアル、ニウスノ聖彼得堡通信者ノ報道スル所ニヨレバ露

國ノ電氣事業ヲ振作スルノ目的ヲ以テ一大シンヂケトノ創設最中ナリ此シンヂケトハ其資本額ヲ三百万磅トナシ勸業銀行ノ後援ヲ以テ獨逸ノ大電氣商社之ヲ創立シツ、アリ此大

インダストリアルバンク